







| | | |
|-----------------------------|--|---|
| 学際ゼミA：地球環境におけるファッションと文化の諸問題 | |  |
| 担当教員・所属 | 小野原 教子・国際商経学部 | |
| 開講時期 | 夏季集中(9月24～25日、28～30日) | |
| 開講場所 | フィールド、三宮(Kobe Co Creation Center)+新長田(サテライトキャンパス)、オンライン | |
| ゼミの概要 | <p>課外学習を主軸にし、兵庫県、日本、世界における人間・自然・文化の問題を、衣服・ファッションから分析し考察する。訪問先は美術館・博物館、多文化共生地域ツアー、サステナブルな視点から興味深い活動を行う衣料・アパレル事業見学など。事前学習として、文献購読や基礎知識の共有を行い、事後学習として、議論やプレゼンテーションを行う。能動的・自律的な学習スタイルを身につけることも目的としている。文献は外国語も含まれる。</p> | |
| 予定される内容 | <p>第1-3回 ガイダンスと事前学習(文献購読と知識共有)1日 オンライン</p> <p>第4-12回 課外学習 3日 (三宮、フィールド、新長田 予定) 美術館企画展鑑賞、多文化共生地域訪問、アパレル事業見学など予定</p> <p>第13-15回 事後学習(議論とグループプレゼンテーション)1日 オンライン</p> <p>*授業終了後、最終レポートを各自作成して提出、成績評価に加える。</p> | |
| 備考 | <p>キャンパス横断型授業のため、受講者クラスターを調査し、必要に応じてアンケートをとるなどして、具体的な進め方を決定する予定にしている。(24, 30は遠隔予定だが、25、28、30は、場所の確定は、訪問先と調整後に決定)</p> | |


| | | |
|----------------------------|--|---|
| 学際ゼミB：比較文化:外国の文化、日本の文化を学ぼう | |  |
| 担当教員・所属 | 星山 京子・国際商経学部 | |
| 開講時期 | 夏季集中(9月15日、18日、25日、28日、30日) | |
| 開講場所 | オンラインと対面の併用。対面授業は神戸商科キャンパス、新長田、フィールドのいずれか | |
| ゼミの概要 | <p>グローバル世界でリアルタイムに起こっているさまざまな問題やトピックをとりあげ、外国の社会や文化について、日本と比較しながら学ぶ。留学生や学部の枠を越えた学生とグループワークやフィールドワークに取り組むことで、視野を広げ、コミュニケーション能力を身につける。</p> | |
| 予定される内容 | <p>外国の社会、文化にかんするジャーナルやグローバルなトピックを扱ったニュースを読み、グループでディスカッションをします。留学生トーク(留学生から外国の社会や文化にかんする話を聞く)を聞き、意見交換をする交流の機会をもうけます。ミュージアムを訪問します。最終的には、関心をもったトピックについて、グループプレゼンテーション実施します。</p> | |
| 備考 | <p>履修者の同意を得た上で、開講日程や授業形態を変更する場合があります。</p> | |


| | | |
|-------------------------|---|---|
| 学際ゼミC : チームで取り組むAIアプリ開発 | |  |
| 担当教員・所属 | 小橋 昌司、磯川 悌次郎、森本 雅和・工学部 | |
| 開講時期 | 夏季集中(9月28~30日) | |
| 開講場所 | 新長田キャンパス | |
| ゼミの概要 | <p>本ゼミでは、医療・ヘルスケアや身近な社会課題を題材に、チームで「動くAIアプリ」を実際に作ることに挑戦します。アイデアを考えるだけでなく、データを扱い、試し、改善しながら、AIアプリを形にしていきます。</p> <p>課題設定から設計・試作・発表までをチームで行い、技術と社会を結びつける視点を学びます。</p> <p>AIやプログラミングの経験は問いません。「AIを使って何かを作ってみたい」学生を歓迎します。</p> | |
| 予定される内容 | <p>集中講義は3日間で実施し、チームでのグループワークを通してAIアプリ開発に取り組めます。</p> <p>初日は、AIアプリ開発の基本的な考え方を確認し、チーム編成を行います。身近な社会課題や医療・ヘルスケア分野を題材に、アイデアを出し合いながらテーマや課題を決めます。</p> <p>2日目は、設定した課題をもとに、チームごとにAIアプリの設計・試作に取り組めます。役割分担を行い、試行錯誤しながらアイデアを形にしていきます。</p> <p>最終日は、試作した成果をまとめ、チームごとに発表と振り返りを行います。</p> | |
| 備考 | 各自ノートPCを持参してください。 | |


| | | |
|------------------------|---|---|
| 学際ゼミD : 県内のモノづくり企業を知ろう | |  |
| 担当教員・所属 | 田中 展、高垣 直尚、比嘉 昌・工学部 | |
| 開講時期 | 夏季集中(9月7~9日) | |
| 開講場所 | 新長田またはフィールド | |
| ゼミの概要 | <p>県内にある地元根差した企業の会社見学・工場見学を行い、主業のモノづくりばかりでなく、国際商経・社会情報・理学・環境人間・看護の多様な視点から企業観察を行います。続いてグループ討論を実施し、企業の強み・弱みを見つけてその企業および兵庫県を含む社会の未来について予測します。</p> | |
| 予定される内容 | <p>以下の日程に集中して、ゼミを実施します。</p> <p>9月7日(月) ガイダンス授業およびグループ討論(場所:新長田ランチ)</p> <p>9月8日(火) 工場見学およびグループ討論(場所:県内の企業A)</p> <p>9月9日(水) 工場見学およびグループ討論(場所:県内の企業B)</p> <p>二日目・三日目のスケジュールの詳細は、シラバスを参照してください。</p> | |
| 備考 | 見学する工場までの交通費は自弁となります。 | |


| | | |
|-------------------------|---|---|
| 学際ゼミE：SDGsを化学の視点から考えてみる | |  |
| 担当教員・所属 | 山本 拓司、福室 直樹、松本 歩・工学部 | |
| 開講時期 | 夏季集中(9月4日、7～8日) | |
| 開講場所 | 1日目は姫路工学キャンパス、 2・3日目は可能な場合はオンライン | |
| ゼミの概要 | SDGs達成に向けて「化学」に関連する身近な課題を選んで、自分の専門分野をできるだけ活かしながら一人一人が取り組めること/取り組むべきことを一緒に考えていきます。グループごとにスライドの作成とプレゼンテーションを行います。 | |
| 予定される内容 | まず、ガイダンスを実施し、グループ分けを行います。次に、化学系の研究室を見学することで、化学に対するイメージを育むとともに、3名程度のグループを組み、グループの意見を集約してテーマを決定します。次に、グループごとにパワーポイントでスライドを作成します。さらに、各グループ全員でプレゼンテーションするとともに、他のグループのプレゼンテーションを聴講しお互いの専門分野を尊重しながら講評します。最後にその結果を、レポートにまとめます。 | |
| 備考 | 受講生は、スライド作成とプレゼンテーションのため、パワーポイントが使用可能なノートパソコンを各自で事前にご用意ください。 | |


| | | |
|--------------------------------|---|---|
| 学際ゼミF：臨床現場での疾病検査(POCT)を使った探究活動 | |  |
| 担当教員・所属 | 安川 智之、鈴木 雅登・理学部 | |
| 開講時期 | 夏季集中(8月31日、9月1、2日) | |
| 開講場所 | 先端医療工学研究所 | |
| ゼミの概要 | 医療現場において患者のそばで迅速に検査するシステムであるPOCTについて学びます。 糖尿病と感染症を例に、実際に測定キットを用いて検出しながらそれらの検査原理について学びます。これらの仕組みを学んだうえで、グループディスカッションを通してPOCTの課題や、課題の真因の特定方法を習得します。 | |
| 予定される内容 | 3日連続の集中開講(5コマ×3日)を予定しています。初日は、血糖センサを用いた血糖の測定・検出メカニズムについて取り上げ、血糖センサを用いた水溶液中のグルコース測定を行ってもらいます。2日目は、イムクロマトグラフィーを用いた診断メカニズムについて取り上げ、イムクロマトを用いた抗原検査を行ってもらいます。 最後に、皆さんの得たデータを整理および解析を行い、それらをまとめて発表資料を作成し、実際にグループ発表を行います。 | |
| 備考 | | |


| | | |
|-----------------------|--|---|
| 学際ゼミG：里山の過去・現在・未来を考える | |  |
| 担当教員・所属 | 山瀬 敬太郎・環境人間学部 | |
| 開講時期 | 夏季集中(8月8、9日、12日)6/2更新 | |
| 開講場所 | フィールド(川西市)または姫路環境人間キャンパス | |
| ゼミの概要 | この講義では、里山と里山その周辺環境に関わるテーマを中心に、講師による森林構造と利用・保全活動に関する紹介をします。また、フィールドワークやワークショップを行いながら、里山の過去・現在・未来を考えます。 | |
| 予定される内容 | 最初の2日間は、川西市にある2箇所の里山を訪問し、フィールドワークを行い、里山の過去と現在に触れる機会を設けます。残りの1日間は、キャンパス内にて里山の訪問をとおして学んだことを整理し、ワークショップを行い、里山の未来について話し合います。 | |
| 備考 | フィールドワーク等の実施の都合上、交通費や宿泊費(1万円程度)の実費負担が生じる可能性があります。 | |


| | | |
|-------------------|--|---|
| 学際ゼミH：兵庫で働くことを考える | |  |
| 担当教員・所属 | 山口 隆英・国際商経学部 | |
| 開講時期 | 後期(月曜5時間目および集中) | |
| 開講場所 | 月5は、オンラインまたは新長田(受講生による) 集中・個別活動は、新長田またはフィールド | |
| ゼミの概要 | 働くこと、自身のキャリアの作り方を考えたうえで、兵庫県内で働くとしたら、どういう働き方ができるのかを考える。兵庫県で会社を営む経営者の話を聞き、その経営者を題材にする。そのことによって、自分の将来キャリアについて考える方法を学ぶ。 | |
| 予定される内容 | 受講生自身の将来のキャリアを考える上で必要となるキャリア教育の基礎知識について2回講義します。 その後は兵庫県内で、会社の経営や事務所の経営をしている経営者10人から、彼らがこれまで、どんなキャリアを歩んできたのかを聞きます。そして、あなたが、どのような働き方を望んでいるのか、今後どういうキャリアを形成するのかを考えます。 最後に、集中講義として、各社の若手社員とのキャリア・ワークショップを行います。 | |
| 備考 | 集中講義の実施日は、初回授業において受講生と相談して決定します。 見学する施設までの交通費は自弁となります。 | |


| | | |
|-------------------|--|---|
| 学際ゼミI：競技プログラミング入門 | |  |
| 担当教員・所属 | 玉置 卓・社会情報科学部 | |
| 開講時期 | 後期、月曜5時間目、15コマ | |
| 開講場所 | 対面（新長田※）と 遠隔（Zoom）のハイブリッド ※対面が商科キャンパス学生のみなら商科キャンパスに変更 | |
| ゼミの概要 | 競技プログラミングを題材として、汎用的な問題解決能力を身に着けることを目的とする。プログラミング、アルゴリズムの初歩を理解し、関連する概念を使って他者とコミュニケーションできるようになることを目標とする。意欲的であれば初心者でも支障なく受講できる程度の内容である。 | |
| 予定される内容 | 1. ガイダンス 2. プログラミング環境の準備と練習 3-5. プログラミング入門（グループワークあり） 6-11. アルゴリズム入門（議論と発表あり） 12-14. ゲスト講師 3コマ（変更の可能性あり） 15. ゼミのまとめ 1コマ | |
| 備考 | | |

| | | |
|------------------|---|---|
| 学際ゼミJ：ヒトの生活の生物科学 | |  |
| 担当教員・所属 | 宮澤 淳夫・理学部 | |
| 開講時期 | 後期、月曜5時間目、15コマ | |
| 開講場所 | 先端医療工学研究所 | |
| ゼミの概要 | ヒトの日常生活と密接に関連した「食品生産」、「現代医療」、「地球環境」に関して学修を深めるとともに、生物学的、社会的、倫理的など多方面からこれらについて議論する。生物科学の知識を自分の生活、地域社会、自分の将来などに活用し、健康で豊かな生活を送るための基礎となる学力を身に付ける。 | |
| 予定される内容 | 教科書として使用する「大人のための科学 高校で教わりたかった生物」に沿って、「生物科学と食品」から2テーマ（発酵飲食品、遺伝子組換え食品）、「生物科学と医療」から4テーマ（抗生物質とワクチン、臓器移植、遺伝病とヒトゲノム、生殖補助医療）、「生物科学と環境」から1テーマ（環境汚染物質）を選定し、それぞれのテーマについて学修を深めた後、担当学生によるプレゼンテーションと、履修者全員による議論を行う。 | |
| 備考 | 履修に必要な予備知識として、高等学校での「生物基礎」、または「生物」を履修・修得していることが望ましい。 | |

| | | |
|-----------------|--|---|
| 学際ゼミK：エスペラント語入門 | |  |
| 担当教員・所属 | 藤原 敬介・環境人間学部 | |
| 開講時期 | 後期、月曜5時間目、15コマ | |
| 開講場所 | 姫路環境人間キャンパス | |
| ゼミの概要 | 国際共通補助語であるエスペラント語の基礎をまなびます。毎回の前半では、エスペラント語の成立背景、歴史、文化、思想、現代社会における役割などを紹介し、言語をとりまく文化的・社会的文脈への理解をふかめます。後半では、エスペラント語の基本的な文法や語彙をまなび、簡単な会話や表現練習をとおして、実際にエスペラント語を運用する能力を身につけます。エスペラント語学習を通じて、多文化理解や言語の多様性についてかんがえることを目的とします。 | |
| 予定される内容 | エスペラント語の歴史や文化をまなびつつ、エスペラント語の習得につとめます。 | |
| 備考 | 授業での使用言語は英語とエスペラント語です。 | |

| | | |
|--------------------------|---|---|
| 学際ゼミL：性(セクシュアリティ)について考える | |  |
| 担当教員・所属 | 工藤 美子・看護学部 | |
| 開講時期 | 後期、隔週月曜5・6時間目 | |
| 開講場所 | 初回の授業の月5は、明石看護キャンパスで対面授業。 2回目以降の月5・6は、遠隔授業。 | |
| ゼミの概要 | 「性(セクシュアリティ)」は、人間の性のあり方や性行動、性に関する意識や行動を総称する言葉とされ、身体的性、性自認、性指向なども関係し、人々の多様性に関係しています。さらに、性暴力やハラスメントといった問題、ジェンダー格差にも関係しています。公に語ることが少ない「性(セクシュアリティ)」に関係する事柄を、共に学び検討します。 | |
| 予定される内容 | 第1回の授業で、性分化の過程・身体的性に関する講義をし、各回のテーマのプレゼンターと第10回授業以降の性に関係する事柄3テーマを決定します。 第2～3回授業は「性自認」、第4～5回授業は「性指向」、第6～7回授業は「性暴力」第8～9回授業は「ジェンダー格差」をテーマとしています。 各テーマのプレゼンテーションに対するディスカッションを行い、検討したテーマの理解を深めます。 | |
| 備考 | 遠隔による授業を実施する回は、自宅等で遠隔授業を視聴できる通信環境(PC等のデバイスやWi-Fi環境)が必要になります。 | |

| | | |
|------------------------|---|---|
| 学際ゼミM : Hyogoの歴史を掘り下げる | |  |
| 担当教員・所属 | 池田 雅則・看護学部 | |
| 開講時期 | 後期(月曜5時間目および集中) | |
| 開講場所 | 月5は、オンラインまたは新長田(受講生による) 集中・個別活動は、新長田またはフィールド | |
| ゼミの概要 | <p>近現代の兵庫県の歴史を知ること、兵庫県および兵庫県立大学への理解を深めます。</p> <p>施設見学、生の史料に触れる体験、自分で設定したテーマによるプレゼンといった実践的な学修を通して、学生・社会人として歴史を知ることの価値について理解を深め、学際的な思考の基礎と課題解決力を培います。</p> | |
| 予定される内容 | <p>通常開講の回(月5・初回含む)は6コマ程度を予定しています。ここでは、兵庫県の歴史に関して特徴的なテーマを取り上げます。まとめとしてディスカッションの機会を設けます。</p> <p>集中開講の回は9コマ程度を予定しています。ここでは、歴史に関する博物館や資料館の見学したり、生の史料に触れたりする機会を設けます。また個別活動として自分で設定したテーマに関わる施設見学をします。</p> | |
| 備考 | 集中講義の実施日は、初回授業において受講生と相談して決定します。見学する施設までの交通費は自弁となります。 | |

| | | |
|-------------------------|---|---|
| 学際ゼミN : 環境にやさしい車を考えてみよう | |  |
| 担当教員・所属 | 松尾 吉晃・工学部 | |
| 開講時期 | 後期土曜 3コマ×5回 | |
| 開講場所 | 姫路工学キャンパス | |
| ゼミの概要 | <p>ガソリン車、燃料電池車、電気自動車等のうちどの車か「環境にやさしいのか」について、どのような観点から何を比較すればよいのか?といった課題設定のところから検討し、議論を行います。これによって、分野横断的な学際的思考の基礎を身につけます。</p> | |
| 予定される内容 | <p>講義の初回にガイダンス、課題設定、グループ分けを行った後、2回目では設定した課題に対する調査を行うことで評価項目を策定します。3回目には、環境に対する影響が大きい項目の一つと考えられる電池について、よりよく知るために実際にこれを作ってみます。4回目に評価項目の修正とプレゼンテーション資料の作成を行い、最終回の5回目ではプレゼンテーションを行って、各グループの内容について討論し、講評を行います。</p> | |
| 備考 | 講義の実施日は、初回授業(10月3日を予定)において発表します。 | |